



祝 香美町二十歳のつどい



香住区



「令和5年香美町二十歳のつどい」が1月8日、香住区中央公民館で行われました。民法の改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本町では令和4年度以降も、当該年度中に20歳を迎える人を対象とし「成人式」から「二十歳のつどい」と名称を変更して開催することとしています。

今年の対象者は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれた町内在住者および町内の小中学校に在学したことがある人、計201人（香住区134人、村岡区50人、小代区17人、このうち155人（香住区104人、村岡区37人、小代区14人）が式典に出席しました。振り袖や羽織はかま、真新しいスーツに身を包み、久しぶりに会う友人と再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせたり写真を撮ったりと旧交を温めるとともに、仕事や学業への誓いを新たにし、大人としての自覚を胸に新たな一歩を踏み出しました。

式典で浜上町長は、昨年開催された北京冬季オリンピックで金メダルを獲得した平野歩夢選手、プロ野球界では大記録を達成した佐々木朗希選手、村上宗隆選手、サッカーワールドカップで活躍した堂安律選手など、スポーツの分野で若い世代の選手に輝かしい活躍が見られたことに触れ、「皆さんに、道なき道を、荒野を進み、輝く未来という新たな道を切り拓いていただきたいと思えます。柔軟で斬新な発想とエネルギーな行動力、地域を愛する熱い思いを、ふるさと香美町の未来のために注いでくれることを期待しています」と今後の活躍にエールを送りました。

その後、新成人代表として仕名野弘太さん（村岡区）と炭本琴音さん（香住区）が記念品を受け取り、松本哲汰さん（香住区）が誓いの言葉を述べました。

松本さんは、これまで過ごしてきた20年を振り返り「涙を流すほどつらく、悔しい経験も多くありました。しかし、これらの思い出は、悪夢を見せただけではなく、人への思いやりや繋がり大切さを教えてくれ、私の心を強くしてくれました。人生のステップを重ねるにつれて、友達や学校の先生、部活動の顧問など自分の回りにはたくさんの方の輪が広がり、多くの人から思い出や幸福をもらい、今までの人生を豊かに彩ってくれました。20歳を迎えたことをきっかけに、新たな心構えと、一社会人としてモラルある行動に励み、一度きりの人生を充実したものにできるよう、一日一日を一生懸命生きていくことを、お誓いします」と誓いの言葉を述べました。



誓いのことばを述べる
松本哲汰さん



司会を務めた伍々零さん（左）、上田遥菜さん（右）



浜上町長から記念品を受け取る炭本琴音さん（左）、仕名野弘太さん（右）



祝 香美町 二十歳のつどい



村岡区・小代区



式典後には、アトラクションとしてフォトムービーの上映や本町産の美味しいお米が当たる大抽選会などが行われました。

